

運動・スポーツの実施場所等に関する需要調査結果について

将来的な運動・スポーツ施設の配置や運動場所の確保・充実に向けた中・長期的な方針の検討に活用するために実施した「運動・スポーツの実施場所等に関する需要調査」の結果を報告します。

1 調査概要

(1) 調査目的

区は、これまで、主に区民のスポーツの実施状況（頻度、内容など）や実施意向、利用施設の利便性等に関する希望を把握することを目的に、港区スポーツ推進計画の策定に向けたアンケート調査や、各スポーツ施設の利用者アンケート等を実施し、区民の声をスポーツ施策の立案や施設の利便性向上に活用してきました。

スポーツ分野においても多様化している区民ニーズに的確に対応していくため、大人と比較して自ら運動・スポーツを行う場所や機会を探すことが難しい子どもをはじめ、区民等の運動・スポーツに関するより詳細な意向やニーズを把握し、今後の運動・スポーツ施設の配置や実施場所の確保・充実に向けた検討に活用するための調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和6年12月18日から令和7年7月31日まで

(3) 調査方法等

ア 民間スポーツ施設立地状況調査等

民間スポーツ施設や企業等が保有するスポーツ施設に関する立地状況調査等を実施しました。

イ 区内在住者、施設利用者等を対象としたアンケート調査

(ア) 調査方法

インターネットによる調査・回答

(イ) 調査対象・回収率等

	対象者	周知方法	回答期間	配布数	回答数	回収率
①	区立小学校 3年生	各学校から対象児童全員に依頼	2月7日～ 3月7日	1,852	1,665	89.9%
②	区立中学校 2年生	各学校から対象生徒全員に依頼	2月7日～ 3月7日	802	545	68.0%

③	高校生	区内の高校(5校)生徒全員に依頼	2月5日～ 3月31日	4,554	204	4.5%
④	18歳以上の 在住、在勤、 在学者	・広報みなと3月1日 号に掲載 ・各区有施設で周知 ・区内大学(4校)構内 での周知 ・委託事業者が保有す るモニターへの依頼	2月14日 ～ 3月31日 大学構内で の周知分 は、4月23 日まで	-	606	-
⑤	港区スポー ツセンター プール利用 者	・プール利用者に依頼	3月10日 ～ 4月11日	1,000	44	4.4%
	港区スポー ツセンター 利用団体	・利用団体に依頼		497※	147※	29.6%※
⑥	学校施設利 用者	・利用団体に依頼	3月7日～ 4月11日	596	105	17.6%
⑦	学校屋内プ ール利用者	・利用者に依頼	3月6日～ 4月11日	639	111	17.4%
	学校屋内プ ール利用団 体	・利用団体に依頼		10	9	90.0%
⑧	運動場団体 利用者	・利用団体に依頼	3月10日 ～ 4月11日	497※	147※	29.6%※

※⑤の団体利用者と⑧は共通

2 調査結果まとめ

各調査対象者に実施したアンケート調査の結果を、「スポーツで利用している場所」や「やりたいスポーツ種目」など10のトピックでまとめました。

(1) スポーツで利用している場所について

- 小学生は「校内」と「公園」が半数以上を超え、二大活動拠点となっている。
- 中・高生になると活動の中心は「学校」(中学66.2%、高校58.7%)に集約される。
- 大学生・大人は「港区スポーツセンター」(26.2%)や「港区外の施設」(26.5%)、「港区内の民間のフィットネスジム」(15.6%)など、多様な施設から自身のニーズに合った施設を自ら選択して利用する傾向がある。

(2) スポーツで利用したい場所について

- 「スポーツ施設が欲しい」と回答している人は、小学生と高校生で45%以上と高くなっている。

- 「公園でスポーツをしたい」と回答している人は、小・中・高生で30%以上となっており、大学生・大人より多くなっている。大学生・大人は一人で行う種目の割合が高くなるため、公園の希望が少なくなるものと思われる。
- 「プール」は、小学生で25%、大学生・大人で26%の人が希望している。
- 「区外で予約できる施設」は、どの年代も20%前後の人が希望している（小学生には尋ねていない）。

（３）やりたいスポーツ種目について

- 小学生は「卓球」「テニス」「バドミントン」などのラケット競技、中・高生は「スキー、スノーボード」、「スケート」などのウィンタースポーツやラケット競技への関心が高い。
- 大学生・大人は現在実施率の高い「水泳」「ジョギング、ウォーキング」に加え、「バスケットボール」や「BMX、スケートボード」もやりたい種目として挙げられている。
- ただし、これらの回答は、直接的な需要だけでなく、単に「体験してみたい」種目も多く含まれていると考えられる。

（４）港区内での対応が難しいと考えられる施設

- やりたい種目として、「スケート」、「その他のラケット競技（パデル等）」、「BMX、スケートボード」などが挙げられている一方、区内で対応できる施設には限りがあるのが実情である。
- 野球、フットサルについて施設の不足感が指摘されており、予約倍率の高さへの不満が多いことから、人気のある曜日・時間帯においては需要超過が見られる。

（５）運動する時間帯

- 小・中・高生の活動は平日の夕方・放課後以降に集中している。学校の部活動や習い事での運動が多いためであると考えられる。
- 大学生・大人は平日の午前・午後・夜間、休日の午前・午後に、活動時間が多様化・分散している。
- 団体利用者は、平日では夜間、土曜・日曜・祝日では日中の利用が中心である。

（６）運動場所を選ぶ理由

- 全世代を通じて、場所選びで最も重視されるのは「自宅や勤務先、通学先からの近さ」（「気軽に利用できる」も含む）であり、次いで「料金が安い」となっている。
- ３番目の理由として、大学生・大人は「やりたいトレーニングができる」を、スポーツセンタープール利用者は「区立の施設であることの安心感」を挙げている。学校施設プール利用者は「混雑がなく快適」が「料金が安い」と同数で２番目となっている。

（７）運動・スポーツをする理由

- 各主体別のスポーツをする理由の中では、小学生は好きだからという理由がトップで、次いで競技スキルの向上となっており、楽しみと競技志向が両立している。

- 中・高生は小学生と比べて好きだからという理由と、競技スキルの向上が低下している。
- 大学生・大人は健康・体力維持や体型維持・ダイエットが多くなっている。

(8) 利用するスポーツ施設への不満

ア 施設全般

- 公立施設や民間の体育館等では混雑の不満が多く、民間の体育館等やフィットネスジムでは料金が安いことへの不満が多い。
- 公立スポーツ施設では施設・設備の古さへの不満も多い。

イ 競技別

- 利用者が多い競技別に見ると、ジョギング・ウォーキングや筋力トレーニングは全体的に不満が少ない。テニスは利用者が多く混雑することへの不満が多い。
- 水泳はスポーツセンターでは衛生面での不満が大きい一方、学校施設では開放時間の短さに対する不満が大きい。

(9) 区立スポーツ施設に求めるもの

- 最も多い要望は、区内のより多くの施設整備への要望である。個人と比べ団体の方が、要望が大きい。
- プールの個人利用者は区内のより多くの施設整備よりも、区内のプールの拡大を希望する人が多く、プール以外の施設への関心が薄い。
- スポーツセンターや運動場、学校の校庭・体育館等利用団体は区内のより多くの施設整備への要望と比べて、区内のプールの拡大の要望が低いことから、当該団体の競技に関係のない施設への関心が薄い。
- eスポーツの体験場所は若い世代ほど要望する割合が高い。

(10) 区立スポーツ施設以外（公園・学校）に求めるもの

- 小・中・高生では30%以上の人公園などでの気軽なスポーツ機会の拡大を要望している。その他の世代や利用者では回答率が下がるものの、大学生・大人で21.0%、スポーツセンター・運動場利用団体は28.6%ある。
- 小・中学生に尋ねた公園に対する要望では、両者ともアスレチックを希望する割合が最も高い。特に小学生ではアスレチックの要望が大きい。球技については、小学生はボール遊び、中学生はバスケットボールがやや優勢である。

1 調査の概要

調査の目的・期間・対象・方法・回収率等

(1) 調査目的

港区は、これまで、主に区民のスポーツの実施状況（頻度、内容等）や実施意向、利用施設の利便性等に関する希望を把握することを目的に、港区スポーツ推進計画の策定に向けたアンケート調査や、各スポーツ施設の利用者アンケート等を実施し、区民の声をスポーツ施策の立案や施設の利便性向上に活用してきた。

スポーツ分野においても多様化している区民ニーズに的確に対応していくため、大人と比較して自ら運動・スポーツを行う場所や機会を探すことが難しい子どもをはじめ、区民等の運動・スポーツに関するより詳細な意向やニーズを把握し、今後の運動・スポーツ施設の配置や実施場所の確保・充実に向けた検討に活用するための調査を実施するものである。

(2) 調査主体

港区教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課

(3) 調査期間

令和6年12月18日～令和7年7月31日

(4) 調査対象・調査方法・回収率等

ア 港区の人口等を踏まえた運動・スポーツ施設必要数調査
民間スポーツ施設立地状況調査、企業等が保有するスポーツ施設立地状況調査等を実施

民間スポーツ施設の地区別・種類別施設数

	区全体	芝	麻布	赤坂	高輪	芝浦港南
全体	95	26	32	22	7	8
トレーニングジム	49	18	15	12	1	3
パーソナルトレーニング	16	2	8	3	3	
ゴルフ練習場	12	4	2	2	1	3
うちインドアゴルフ練習場	7	1	2	2	1	1
うちフィットネスクラブ内	2	1				1
うち屋外のゴルフ練習場	3	2				1
格闘技ジム	9	3	3	3		
加圧トレーニング	4		2			2
ピラティス	4		1	1		2
テニスクラブ	3		1	1	1	
クライミングジム	2		1		1	
ヨガ	1					1
ランニングステーション	1					1
貸し体育館	1					1

※1つの施設に複数の施設を含むため種類別の合計は全体施設数とは一致しない。

イ 区内在住者、施設利用者等を対象とした調査

	対象者	周知方法	回答期間	配布数	回答数	回収率
①	区立小学校3年生	各学校から対象児童全員に依頼	2月7日～3月7日	1,852	1,665	89.9%
②	区立中学校2年生	各学校から対象生徒全員に依頼	2月7日～3月7日	802	545	68.0%
③	高校生	区内の高校(5校)生徒全員に依頼	2月5日～3月31日	4,554	204	4.5%
④	18歳以上の在住、在勤、在学者	・広報みなと3月1日号に掲載 ・各区有施設で周知 ・区内大学(4校)構内での周知 ・委託事業者が保有するモニターへの依頼	2月14日～3月31日 大学構内での周知分は、4月23日まで	-	606	-
⑤	港区スポーツセンター利用団体	・利用団体に依頼	3月10日～4月11日	497	147	29.6%
	港区スポーツセンタープール利用者	・プール利用者に依頼		1,000	44	4.4%
⑥	学校施設利用者	・利用団体に依頼	3月7日～4月11日	596	105	17.6%
⑦	学校屋内プール利用団体	・利用団体に依頼	3月6日～4月11日	10	9	90.0%
	学校屋内プール利用者	・利用者に依頼		639	111	17.4%
⑧	運動場利用者	・利用団体に依頼	3月10日～4月11日	497	147	29.6%

※⑤の団体利用者と⑧は共通

2 調査結果のまとめ

総論

(1) 運動・スポーツの場の確保

- 一部の施設や時間帯において、予約の取りにくさや混雑が課題となっている（特に団体利用や人気の高い施設において）。
- 大学生・大人の一部や団体からは、特定の屋外種目（フットサル、野球など）や専用施設への需要がある。
- 区立プールの拡充を望む声は個人利用者を中心に根強い。
- 利用団体は区内での場所の確保を優先する傾向にあり、例えば江戸川河川敷グラウンドの認知度は一定数あるものの、距離やアクセスの課題から利用意向は限定的である。
- 気軽にキャッチボールやボール遊びができる公園を求める声が小学生から大人まで共通して見られる。
- eスポーツ体験場所への関心も各世代で見られる。

(2) 施設利用における利便性

- 学校開放プールの認知度は高いものの、実際の利用者は限られており、利用促進の余地がある。
- 施設の予約システムや利用料金支払い方法に関する不満も一部見られる。

(3) ニーズの多様化

- 今後やりたいスポーツとして、従来の種目に加え、その他のラケット競技（パデル、ピクセルボール等）、BMX、スケートボード、eスポーツといった多様なスポーツへの関心や要望が寄せられている。

(4) 子どものニーズ

- 多くの小・中・高生が、現状よりもっとスポーツを実施したいという意向がある。
- 特に、学校施設以外の身近な場所（公園など）でのびのびと活動できる環境や、多様なスポーツに触れる機会が求められている。
- 部活動以外や放課後、週末に利用できる練習場所（特に屋内施設、専用施設、夜間利用可能な施設）の不足感がある。

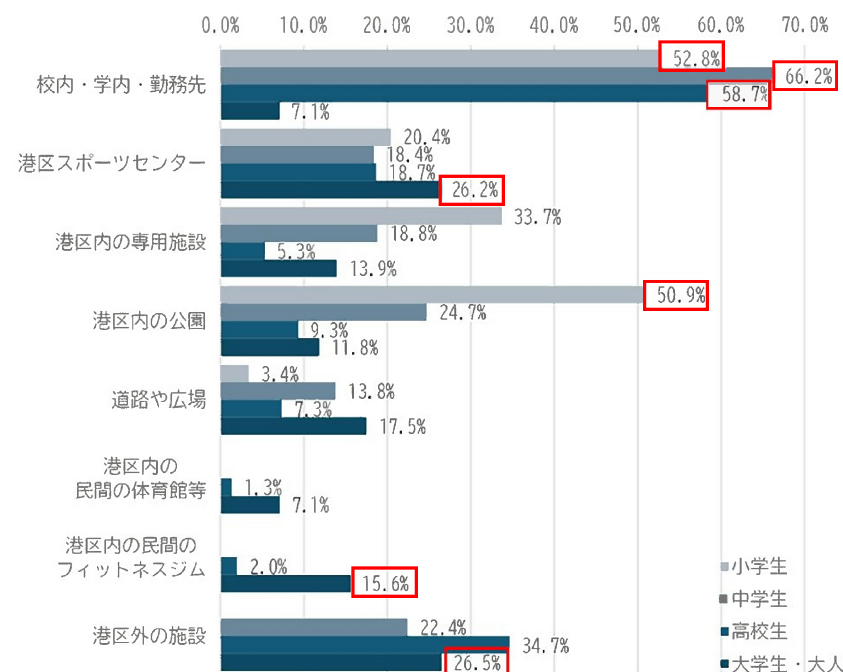
【10のトピック】

- 1 スポーツで利用している場所
- 2 スポーツで利用したい場所
- 3 やりたいスポーツ種目
- 4 港区内での対応が難しいと考えられる施設
- 5 運動する時間帯
- 6 運動場所を選ぶ理由
- 7 運動・スポーツをする理由
- 8 利用するスポーツ施設への不満
- 9 区立スポーツ施設に求めるもの
- 10 区立スポーツ施設以外（公園・学校）に求めるもの

(1) スポーツで利用している場所について

- 小学生は「校内」と「公園」が半数以上を超え、二大活動拠点となっている。
- 中・高生になると活動の中心は「学校」（中学66.2%、高校58.7%）に集約される。
- 大学生・大人は「港区スポーツセンター」（26.2%）や「港区外の施設」（26.5%）、「港区内の民間のフィットネスジム」（15.6%）など、多様な施設から自身のニーズに合った施設を自ら選択して利用する傾向がある。

主体別スポーツで利用する場所の回答率比較



主な意見（自由記述要旨）

◆区立施設

- 若者と高齢者では目的やニーズが変わってくるので、60歳になったら、目的やニーズに合わせて、ラクっちゃも利用したい（50歳代女性）

◆民間施設

- 区立のテニスコートの予約をとるのが難しいので、民間のテニススクールに通っている（70歳代女性）

◆公園・自宅・オンライン

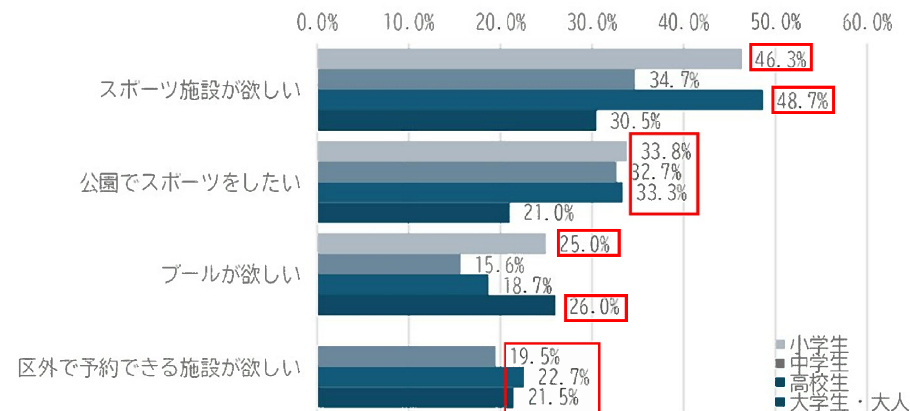
- 港区提供のオンライン視聴で室内、時間に関係なくできるストレッチやヨガなどを実施している（50歳代女性）

2 調査結果のまとめ

(2) スポーツで利用したい場所

- 「スポーツ施設が欲しい」と回答している人は、小学生と高校生で45%以上と高くなっている。
- 「公園でスポーツをしたい」と回答している人は、小・中・高生で30%以上となっており、大学生・大人より多くなっている。大学生・大人は一人で行う種目の割合が高くなるため、公園の希望が少なくなるものと思われる。
- 「プール」は、小学生で25%、大学生・大人で26%の人が希望している。
- 「区外で予約できる施設」は、どの年代も20%前後の人が希望している（小学生には尋ねていない）。

主体別スポーツで利用する場所の要望に対する回答率比較



主な意見（自由記述要旨）

◆自宅や職場の近く

- 身近に気軽に運動できる場所があるとよい（40歳代女性）
- 家の近くにスポーツする場所があまり無いので、近くにあるとよい（小学生）

◆専門施設・大規模施設

- 陸上競技場（トラック競技場）を整備してほしい（高校生、40歳代女性、60歳代男性）
- ダンスができる場所が欲しい（小学生、中学生、40歳代男性、40歳代女性、50歳代女性）
- （子どもたちのために）スケボーパークが欲しい（40歳代男性、50歳代女性、60歳代女性）

◆既存の公園など

- キャッチボール、サッカー、バスケなどが公園でできるとよい（小学生、40歳代男性、40歳代女性、50歳代男性、50歳代女性）

(3) やりたいスポーツ種目

- 小学生は「卓球」「テニス」「バドミントン」などのラケット競技、中・高生は「スキー、スノーボード」、「スケート」などのウィンタースポーツやラケット競技への関心が高い。
- 大学生・大人は現在実施率の高い「水泳」「ジョギング、ウォーキング」に加え、「バスケットボール」や「BMX、スケートボード」もやりたい種目として挙げられている。
- ただし、これらの回答は、直接的な需要だけでなく、単に「体験してみたい」種目も多く含まれていると考えられる。

主体別やりたいスポーツ種目の上位5種目の比較

順位	小学生		中学生	
	種目	回答率	種目	回答率
1	卓球	24.8%	スキー、スノーボード	23.6%
2	テニス	24.6%	スケート	22.4%
3	バドミントン	22.6%	バドミントン	20.4%
4	バレーボール	21.1%	卓球	17.9%
5	アーチェリー	21.0%	バレーボール	17.2%

順位	高校生		大学生・大人	
	種目	回答率	種目	回答率
1	スケート	22.0%	水泳	23.2%
2	サッカー	20.7%	バスケットボール	22.2%
3	フットサル	19.3%	ジョギング、ウォーキング	18.4%
4	テニス	19.3%	BMX、スケートボード	12.8%
5	その他のラケット競技（パデル等）	18.0%	卓球	10.4%

主な意見（自由記述要旨）

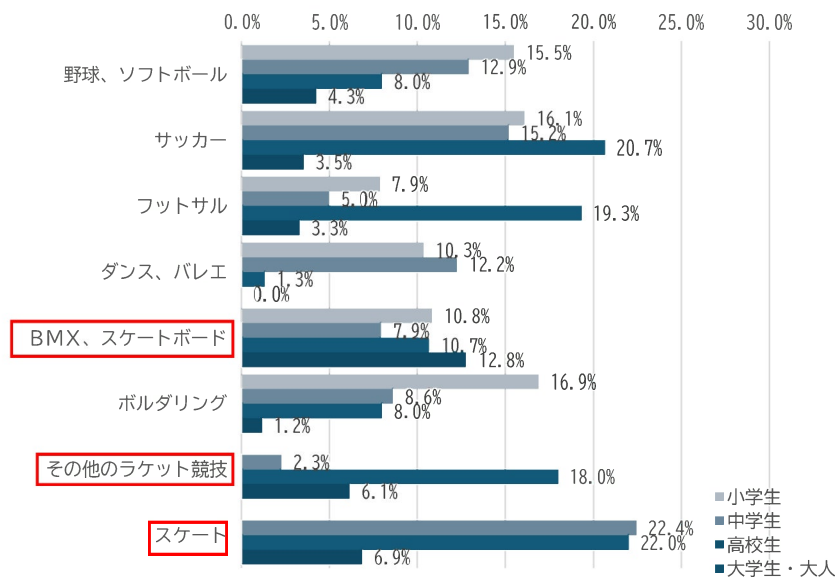
- 野球、ボルダリング、サッカー、テニスをもっと本格的にやってみたい。（小学生）
- 剣道以外の弓道や合気道、空手などの武道をもっと学校で習いたい。（中学生）
- バスケのワークアウト、港区の高校生でバスケやってる人やプロからバスケ習うというのをやりたい（高校生）
- ひとりで参加できるスポーツにチャレンジするきっかけをいただけると嬉しい（50歳代女性）
- 強度の高い運動は苦手なので、近所で気功とか太極拳などゆったりできるスポーツ教室があれば行きたい（40歳代女性）

2 調査結果のまとめ

(4) 港区内での対応が難しいと考えられる施設

- やりたい種目として、「スケート」、「その他のラケット競技（パデル等）」、「BMX、スケートボード」などが挙げられている一方、区内で対応できる施設には限りがあるのが実情である。
- 野球、フットサルについて施設の不足感が指摘されており、予約倍率の高さへの不満が多いことから、人気のある曜日・時間帯においては需要超過が見られる。

やりたい種目別主体別回答率の比較（一部競技のみ）



主な意見（自由記述要旨）

◆野球・サッカー

- ・ 硬式野球ができるグラウンドが最低一つはほしい。港区の子供たちが、他の区の子供たちよりも選択肢の幅が狭く、可哀想（在勤団体）
- ・ サッカーのできるグラウンドが不足（在住団体）

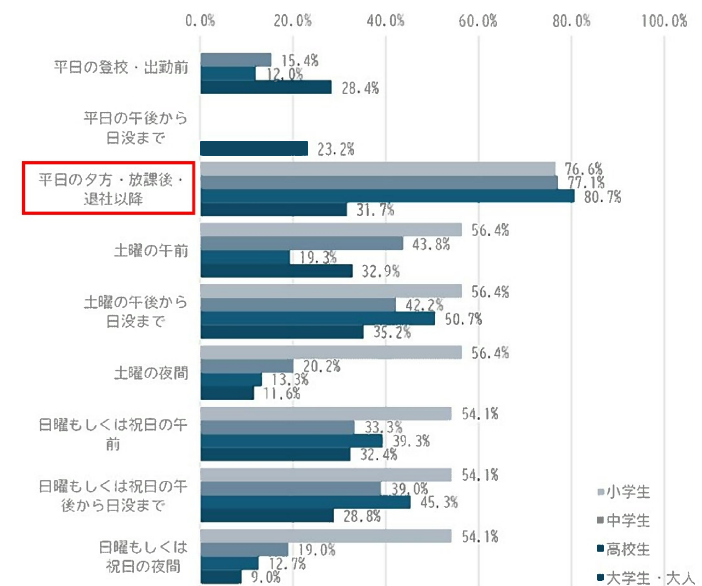
◆ダンス・その他専門競技

- ・ 社交ダンスのできる場所を増やしてほしい。（40歳代男性）
- ・ ダンスができる場所が欲しい（小学生、中学生、40歳代女性、50歳代女性）
- ・ ボルダリングをやりたいが、施設が少なく、誰が教えてくれるのかわからない。（小学生）

(5) 運動する時間帯

- 小・中・高生の活動は平日の夕方・放課後以降に集中している。学校の部活動や習い事での運動が多いためであると考えられる。
- 大学生・大人は平日の午前・午後・夜間、休日の午前・午後に、活動時間が多様化・分散している。
- 団体利用者は、平日では夜間、土曜・日曜・祝日では日中の利用が中心である。

年代別運動する時間帯



主な意見（自由記述要旨）

◆働く人達のニーズ

- ・ シニア向けは平日昼間が多い。働くシニアが多いので、夜間の開催がほしい（60歳代女性）
- ・ 平日は仕事が終わってから参加するので、一度帰宅しなくても直接参加出来るようなサービスがあると良い（40歳代女性）

◆子どものために

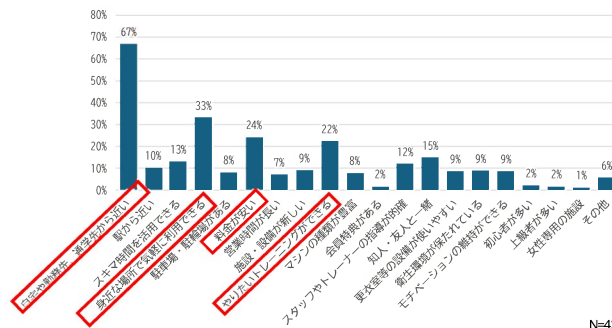
- ・ （子どもの教室は）共働きでは通わせにくい平日昼間のレッスンが多い。平日夕方以降や休日にレッスンがある教室が増えると嬉しい（30歳代女性）

2 調査結果のまとめ

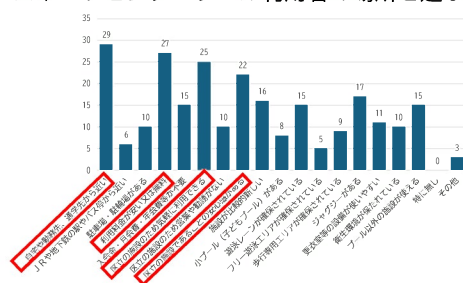
(6) 運動場所を選ぶ理由

- 全世代を通じて、場所選びで最も重視されるのは「自宅や勤務先、通学先からの近さ」（「気軽に利用できる」も含む）であり、次いで「料金が安い」となっている。
- 3番目の理由として、大学生・大人は「やりたいトレーニングができる」を、スポーツセンタープール利用者は「区立の施設であることの安心感」を挙げている。学校施設プール利用者は「混雑がなく快適」が「料金が安い」と同数で2番目となっている。

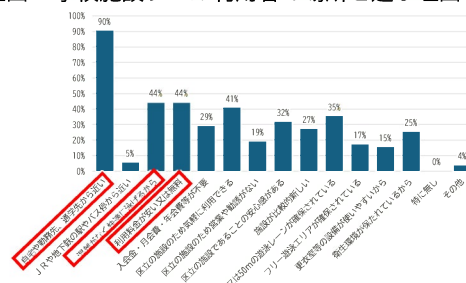
大学生・大人の運動場所を選ぶ理由



スポーツセンタープール利用者の場所を選ぶ理由



学校施設プール利用者の場所を選ぶ理由



主な意見（自由記述要旨）

◆近さ・手軽さ

- ・身近に気軽にできる場所があるといい（40歳代女性）

◆料金

- ・いきいきプラザを利用している。無料だし利用者や職員とのたわいのない会話ができる場所。ありがたい。（60歳代女性）
- ・民間のスポーツ施設は値段が高い。高齢者で利用できる人は、限られた層の中では。健康増進の支援で割引クーポンの発行はできないか。（70歳代女性）

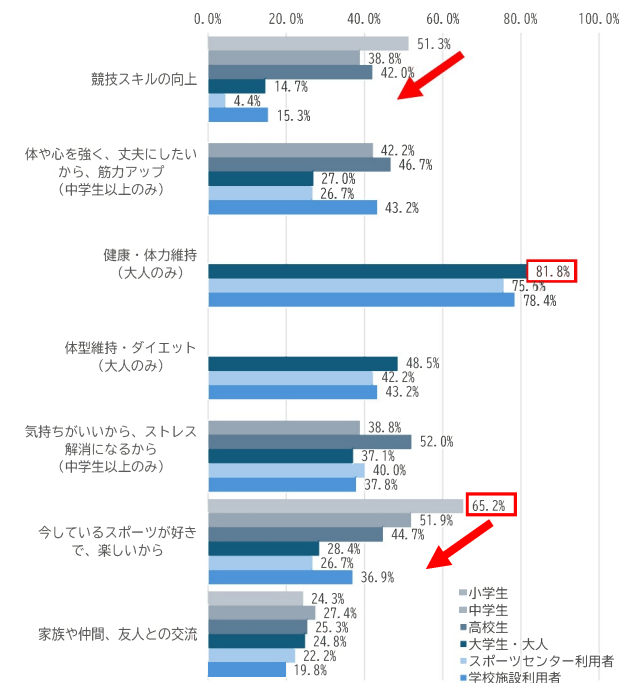
◆確実性

- ・区立のテニスコートの予約をとるのが難しいので、民間のテニススクールに通っている（70歳代女性）※再掲

(7) 運動・スポーツをする理由

- 各主体別のスポーツをする理由の中では、小学生は好きだからという理由がトップで、次いで競技スキルの向上となっており、楽しみと競技志向が両立している。
- 中・高生は小学生と比べて好きだからという理由と、競技スキルの向上が低下している。
- 大学生・大人は健康・体力維持や体型維持・ダイエットが多くなっている。

各主体別のスポーツをする理由



主な意見（自由記述要旨）

◆軽い・ゆったりした運動

- ・強度の高い運動は苦手なので、近所で気功とか太極拳などゆったりできるスポーツ教室があれば行きたい（40歳代女性）※再掲
- ・年齢から、ゆっくり楽しめるもののがいい（70歳代男性）

◆本格的な運動

- ・野球、ボウリング、サッカー、テニス、をもっと本格的にやってみたい。（小学生）※再掲

◆体力や健康への意識

- ・運動は苦手だが筋力をつけないと老後困るから何かしらやりたい（50歳代女性）

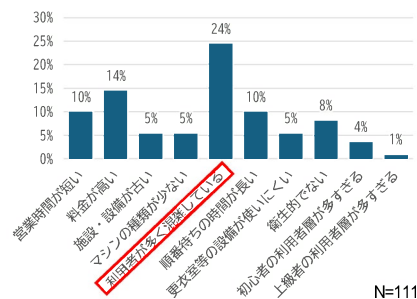
2 調査結果のまとめ

(8) 利用するスポーツ施設への不満

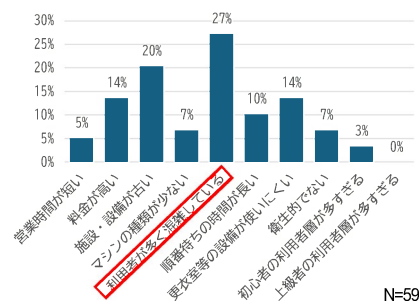
1) 施設全般

- 公立施設や民間の体育館等では混雑の不満が多く、民間の体育館等やフィットネスジムでは料金が高いことへの不満が多い。
- 公立スポーツ施設では施設・設備の古さへの不満も多い。

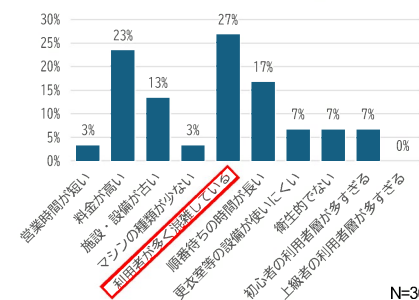
港区スポーツセンター利用者の不満



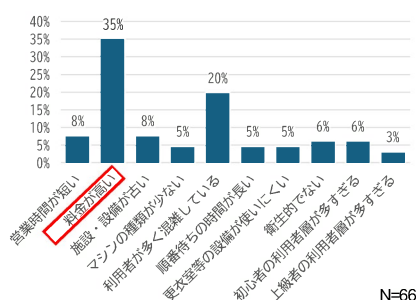
港区内の公立スポーツ施設利用者の不満



港区内の民間の体育館等利用者の不満



港区内の民間のフィットネスジム利用者の不満



主な意見（自由記述要旨）

◆予約システム・時間

- ・ 予約システムの使い勝手が悪すぎる。（在勤団体）
- ・ ウェブの簡単な予約で場所の確保ができるとよい（30歳代女性）

◆施設の空間・備品

- ・ スポーツセンター内プールの更衣室ロッカーが古い。錆びていたり、鍵がかからないものがある（60歳代男性）

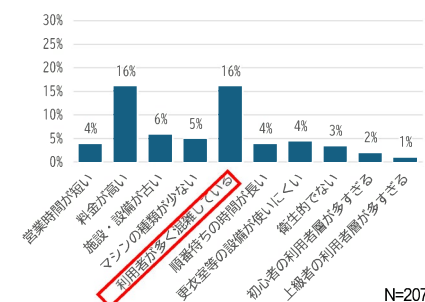
◆運営時間

- ・ 小学校のプール開放時間が短い（60歳代女性）
- ・ 学校の体育館の開放時間を延ばしてほしい（40歳代男性）

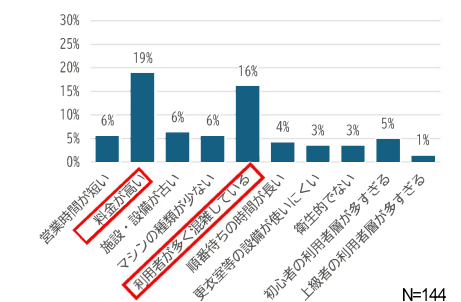
2) 競技別

- 利用者が多い競技別に見ると、ジョギング・ウォーキングや筋力トレーニングは全体的に不満が少ない。テニスは利用者が多く混雑することへの不満が多い。
- 水泳はスポーツセンターでは衛生面での不満が大きい一方、学校施設では開放時間の短さに対する不満が大きい。

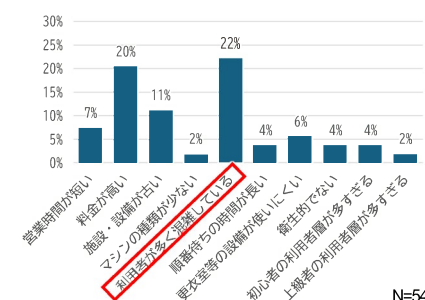
ジョギング・ウォーキングをする人の不満



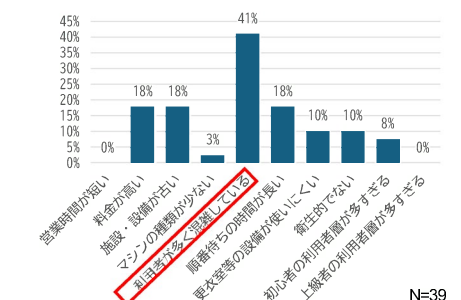
筋力トレーニングをする人の不満



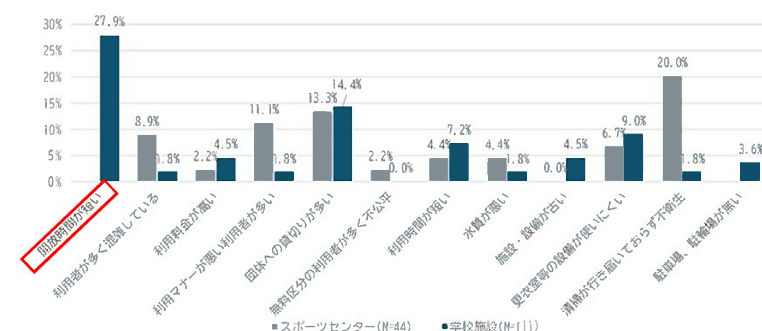
ゴルフをする人の不満



テニス（硬式・軟式）をする人の不満



プール利用者の不満

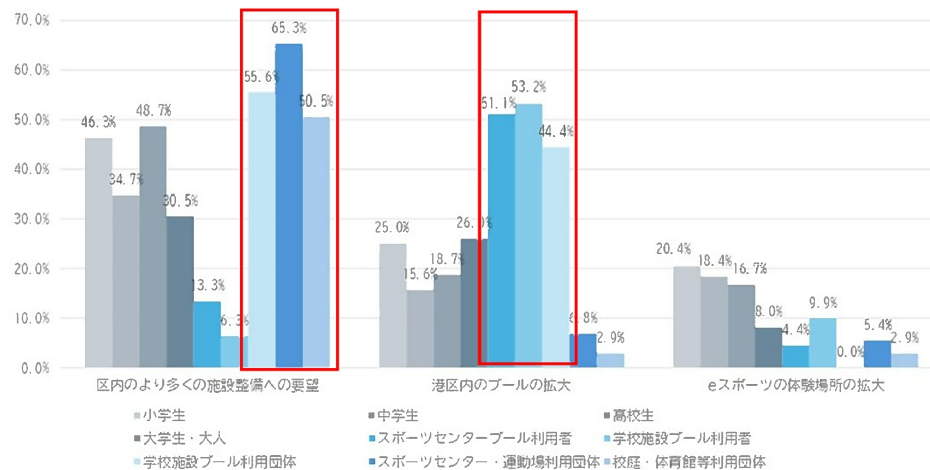


2 調査結果のまとめ

(9) 区立スポーツ施設に求めるもの

- 最も多い要望は、区内のより多くの施設整備への要望である。個人と比べ団体の方が、要望が大きい。
- プールの個人利用者は区内のより多くの施設整備よりも、区内のプールの拡大を希望する人が多く、プール以外の施設への関心が薄い。
- スポーツセンターや運動場、学校の校庭・体育館等利用団体は区内のより多くの施設整備への要望と比べて、区内のプールの拡大の要望が低いことから、当該団体の競技に関係のない施設への関心が薄い。
- eスポーツの体験場所は若い世代ほど要望する割合が高い。

区立スポーツ施設へ求めるもの



主な意見（自由記述要旨）

◆施設の増設・拡充

- ・ 他区には大概二つ以上のスポーツセンターや総合体育館等が用意されているのだから増設をお願いしたい（60歳代男性）

◆高齢者向け

- ・ 高齢者が健康でいられるよう区で運営する高齢者向けスポーツクラブがあると良い（50歳代女性）

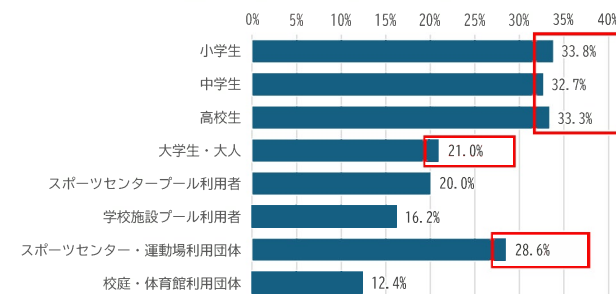
◆利用のしやすさ向上

- ・ 登録とか予約とか手続なしで使えると参加のハードルが下がる（40歳代女性）
- ・ 有料でもいいので道具や消耗品（ボールやシャトルなど）が用意されていたらもっと気軽に参加する人が増えるのではないかな（40歳代女性）

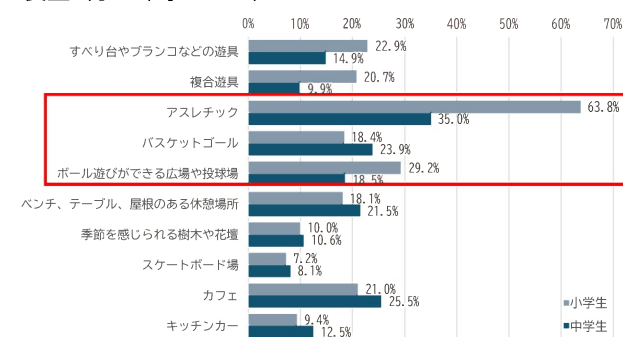
(10) 区立スポーツ施設以外（公園・学校）に求めるもの

- 小・中・高生では30%以上の人が公園などでの気軽なスポーツ機会の拡大を要望している。その他の世代や利用者では回答率が下がるものの、大学生・大人で21.0%、スポーツセンター・運動場利用団体は28.6%ある。
- 小・中学生に尋ねた公園に対する要望では、両者ともアスレチックを希望する割合が最も高い。特に小学生ではアスレチックの要望が大きい。球技については、小学生はボール遊び、中学生はバスケットボールがやや優勢である。

公園などでの気軽なスポーツ機会の拡大を希望する割合



公園に対する要望（小・中学生のみ）



主な意見（自由記述要旨）

◆公園の利用ルールの緩和と整備

- ・ 球技可能な場所をしっかりと設置して、遊ぶ場所を分けていただけると安全面で非常に嬉しい（届出団体B（抽選申込））

◆学校の施設開放の拡充

- ・ もっと学校の校庭や体育館を開放して、好きに部活以外のスポーツも部活のスポーツもできるようにして欲しい（中学生）
- ・ 学校のプールで土日や平日夕方にスイミング教室を開催してほしい（30歳代女性）

◆遊具・健康器具の設置

- ・ 公園で体力錬成ができるように、運動器具を設置して欲しい（60歳代男性）